

令和6年 第7回湯沢町教育委員会定例会会議録

1 日時場所 令和6年7月23日(火) 午前9時30分より
湯沢学園 2階 会議室

2 出席者

委 員：種村公夫教育長、南雲敬一委員、上村麻美委員、高橋延次委員、富沢清美委員
説明員：南雲子育て教育部長、田村子育て支援課長、南雲認定こども園長、岡村管理指導主事
欠席者：角谷教育係長

3 開 会

午前9時30分

4 議事録署名委員、日程の承認

令和6年第7回教育委員会の議事録署名委員を種村教育長、高橋委員とする。

議案2件、協議事項なし、報告連絡事項とする。日程及び議事順序を承認。

5 議案審査

議案第1号 令和6年度準要保護児童生徒の就学援助の承認について【非公開】

挙手全員で議案第1号は承認

議案第2号 令和7年度中学校教科書採択について

(教育長) それでは、議案第2号令和7年度中学校の教科書採択についてこれからご審議をいただきます。少し時間がかかるかと思いますが、ご協力をよろしくお願いします。それでは、資料の2枚目をご覧ください。今年度、中学校の次の教科書について魚沼・小千谷地域教科書採択地区協議会で審議、決定し、来年度から使用するといったものです。国語から道徳まで、その一覧にあるとおり、採択協議会で来年度使用する教科書について選定をさせていただきました。これから順にその教科書について選定された理由をかいづまんで説明いたしますので、実際に教科書を手に取ってご確認いただき、また必要がありましたら採択にならなかった教科書も参考にしていただきながら、ご審議、ご承認いただければありがたいと考えております。よろしいでしょうか。

それでは最初の教科、国語です。採択されたものは、三省堂という出版社のものです。この教科書が採択された理由として中をご覧いただきますと分かりますが、全ての学年にわた

って思考の方法といった子供たちの学びを9種類の方法で示し、3年間にわたって子供たちの思考を深める活動を展開していくというところがよいのではないかといった審議がなされました。それから、正しく読み、より深く読み味わうための技やコツといったものが様々な場面で活用できるということで、これもメリットとして挙げられております。ほかにも、デジタルコンテンツ等非常に充実しているといったことが理由として挙げられています。実際に教科書をご覧いただきながらご検討いただければと思います。それでは少し、時間を取りますので、よろしくお願ひいたします。

(委員) 基本的に3年間をこれで使うということですか。

(教育長) そうです。変わった場合にはその翌年から違う教科書に替わります。学年がどの学年であっても、採択が変わればその翌年から教科書が替わります。

(委員) 来年から1年生、2年生、3年生とこの教科書を使うのですか。

(教育長) そうです。一斉に来年からこれを使うということになります。中学生なので、7、8、9年生がこれを使い始め、大体3年から4年同じ教科書を使います。1年生で使い始めた子は3年間同じになり、教科によって変わったものについては、その途中から変わるといったことになります。

(委員) 文字が大きくて見やすいですね。

(委員) 全部で何社ぐらいありますか。例えば国語であれば。

(教育長) 教科書によって違いますが、不採用の会社がありますので、国語でいうと4社です。

(委員) 東京書籍もある。

(教育長) 会社によって教科書だけの会社もあれば、そうでない会社もありますので、三省堂の場合、出版のほうがかなり強いです。

(委員) 教科書専門だけでは、子供の数がどんどん減っているので、経営的にいいも悪いもなさそうです。

(教育長) 少子化の波は、教科書会社の存亡に関わります。特にここに来て非常にＩＣＴ化が急速に進化しており、今回の教科書からはほとんどの教科、内容について二次元コード、QRコードがついております。すぐにスマホやタブレットでそれに関連する動画やコンテンツを参考にすることができるようになっています。慎重にご審議いただきたいところであります

が、程よいところでお声がけさせていただきます。

(大丈夫ですの声あり)

(教育長) それでは、今回選定された国語、三省堂については、特に今の子供たちの学びに必要とされている知ること、分かるといったことだけではなく、学び方そのものを学んでいくということが重視されており、それに特化したたくさんの工夫が凝らされているという面で強調されて採用されております。国語については、三省堂を使用することについてご承認いた

だけますでしょうか。

(異議なし)

(教育長) ありがとうございました。続きまして、書写、書き方についてご審議をお願いいたします。採用されたのは光村図書の教科書です。調査員と審議のなかで特にアピールされていたのが行書体の文字が美しいということでした。また、行書スイッチというのがありまして、楷書から行書へ切り替えるための紙面構成が非常に工夫されており分かりやすいということでした。中学校に入ると毛書が行書になっていきますが、それへの切替えが非常に分かりやすくなっている。また、動画コンテンツが非常に充実しているということでした。それでは、書写の教科書についてご覧いただき、程よいところでお声がけしますので、ご確認をお願いいたします。

(委員) 書写の時間はどのくらいあるのですか。

(教育長) 中学校はどうでしょう。

(管理指導主事) 書写ですね。

(教育長) 小学校は週 1 ですよね。

(管理指導主事) はい。

(教育長) 中学校はそこまであるのでしょうか。

(管理指導主事) 週 1 回もないような気がします。

(委員) 学期のどこかで習字道具持って行くようなイメージですよね。

(委員) それこそ正月に近くなってくると、書き初めの関係でおこなうのでは。

(教育長) 年間 35 時間となっていると、週 1 回ですが、例えば年間 20 時間とかになっていると、あるときとないときがあつたりするという感じになります。

(委員) 今はしっかりと書き順を教えているのですか。

(委員) 書き順というのは、昔から変わっていないのですか。多少変わるものですか。

(教育長) 書き順というのは聞くところによると、明治頃に文部省が決めたようです。それまでは、書き順はなかったらしく、その後また多少の変更はあったかもしれません、学校がスタートし先生方によって教え方がまちまちで非常に困っていたということで、国が統一したのです。ですので、比較的新しい要素のようです。見るだけで感動してしまうような書写の教科書かと思いますが、光村図書を採用するに当たり、ご承認いただけますでしょうか。

(異議なし)

(教育長) では、皆様ご承認いただけるということで、書写は決定いたしました。続いて、社会ですが、社会も分厚い教科書となっています。地理、歴史、公民と 3 つのジャンルに分かれて教科書が編集されています。今回の採用では、地理と歴史が東京書籍となっています。そこで、最初にこの 2 つの教科書について説明しますので、同時にご検討いただき、それが終

了した後に、公民について検討いただきたいと思います。よろしいでしょうか。

(はいの声あり)

(教育長) それでは、地理の教科書、東京書籍をご覧いただきたいと思います。東京書籍の地理ですが、めくっていただくと紙面の見開きで学習課題から挑戦する、トライのところまでがまとまっています。非常に紙面構成が工夫されており、課題解決的な学習ができるように工夫されているというところが大きく採用された理由として挙げられています。それから、ほかのものもそうですが、デジタルコンテンツが非常に充実しており、学ぶに当たっての学習効果が非常に高くなるということが工夫された点です。それからもう一つ、歴史についてですが、東京書籍の教科書については非常に資料が充実しているということです。また、教科書の開いていただくと右側のところに、縦に歴史年表が書いてあり、今学んでいることがいつの時代のことなのか、一目で分かるような工夫がなされています。

(色がついているねの声あり)

(教育長) そうです。それから、地理と同じように、開いたときに課題から挑戦までの一連の学習の流れが基本的な構成としてスタンダード化されており、非常に学びやすくなっているのではないかということでした。また、二次元コードを使った資料が非常に豊富に用意されているという理由から、この教科書が選ばれました。これから地理と歴史の2つの教科書同時並行でご覧いただき、特徴はさっき申し上げたとおり、両方とも同じ編集方針で行われていますので、見開きの構成の問題等が分かりやすくなっていると思います。では、ご検討をよろしくお願いします。それでは、まず先に地理と歴史についてご確認をお願いしたいと思うますが、よろしいでしょうか。

(はいの声あり)

(教育長) 先ほど申し上げたような形で地理と歴史が選ばれてきておりますが、東京書籍を用いるということでご承認いただけますでしょうか。

(異議なし)

(教育長) ありがとうございました。続いて、社会の公民ですが、これは教育出版が選ばれました。あわせて、地図帳も一緒にお願いしてよろしいでしょうか。地図帳は、比較的見慣れた帝国書院の地図帳が今回も採用されました。公民についてですが、見開きごとに冒頭のキャラクターで吹き出しの提案があり、それを基に学習課題が設定され、巻末に振り返りができるような、そういう流れがスタンダードになっていて、学びやすいということが挙げられています。それから、巻末にある公民に関する法令集が他教科書に比べて非常に充実していて分かりやすい、ほかの教科書も一部載っているのですが、詳しく載っているのはこの教育出版が一番よいのではないかということでした。ただ、比較的QRコードを使ったような資料は少ないですが、教科書の中の資料が非常に充実しているので、そこまで必要ないのではないか

いかということで、むしろこのほうが使いやすいという理由で選ばれました。それから、地図帳ですが、やはり帝国書院の地図帳が開いたときに非常に見やすい、分かりやすいということで選ばれています。色使いとか、文字のサイズや濃淡等が分かりやすくなっているということ。あとは、国の名称のところはポイントがしっかりと大きくなっています、ほかのものと比べても分かりやすいということでした。また、国ごとの特徴とか民族衣装等が紹介されており、イメージが非常にしやすくなっているということでした。以上のような理由から、地図帳については帝国書院が選ばれています。それでは、公民の教科書、教育出版と地図帳、帝国書院についてご検討をお願いします。

(検討中)

(教育長) いかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、公民については教育出版、地図帳は帝国書院を採用することについてご承認いただけますでしょうか。

(異議なし)

(教育長) ありがとうございました。1つ申し上げ忘ましたが、ここまで選定の中で、これまでのものと異なっているのは、書写の教科書。前回書写は東京書籍でしたが、これが光村に変わっています。この後も含めて、変わったところについてはその都度申し上げたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。続いて、数学の教科書です。数学については、学校図書が採用となっています。学校図書は、巻末の練習ページを抑えて単元の中のページを多くすることで、学習内容がきちんと身につくように構成されている、また、学ぶときに最初にそれまでの学んだことが整理されており、何を使ってどう学べばよいかが分かりやすくなっているということです。また、小学校の系統性を意識して、学びの連続性、またそれを生かした学びができるように、そしてそれをしっかりと振り返りながら定着させるような紙面構成がなされているという点で学校図書が選ばれています。なお、数学は前回も学校図書でした。以上ですが、数学の教科書についてご検討をお願いいたします。

(検討中)

(教育長) いかがでしょうか。小学校の算数も含めて、新潟県は非常に学校図書の採用が多いです。全国的にはそんなに多くないのですが、新潟県は比較的採用が多いです。やはり内容的に非常にスタンダードな構成になっており、新潟県の子供たちにとっては分かりやすい、使いやすい、また先生方もそのほうが教えやすいということで選ばれているように感じております。それでは、数学の教科書は学校図書を採用するということでおよろしいでしょうか。

(異議なし)

(教育長) ありがとうございました。続きまして理科です。これも同じく学校図書が採用となっています。数学と同じような理由になりますが、単元構成が非常にシンプルで分かりやすい構成になっているといったことが選ばれた理由として挙げられます。また、結果がどうであ

ったのかということと、そこから何が分かるのかといったことの使い分けが非常にはつきりしていて分かりやすくなっているということ。そして、何よりもほかの教科書とめくったときの写真のきれいさが、全然いいということで選ばれました。また、二次元コードによるデジタルのデータ提供も非常に充実しているといった理由でした。以上ですが、理科についてのご検討をお願いいたします。

(委員) 書面がみんなきれいです。

(教育長) 写真がきれいというのが非常に印象的でした。

(委員) 確かに紙がよくなっている。しかし重たいです。

(教育長) 幅が広くなったり、縦が長くなったりとかで、いずれは、かばんの中はタブレット1つになって、全部その中にデジタルコンテンツが入っているような、そのような時代になると思います。

(委員) 今はいろいろ移行時期ですから。

(教育長) よろしいでしょうか。

(はいの声あり)

(教育長) それでは、理科について、やはり写真の鮮明さについては皆様からも共感いただけたようあります。学校図書の採用についてご承認いただけますでしょうか。

(異議なし)

(教育長) ありがとうございました。では、理科はこれで承認されました。続きまして、音楽ですが、音楽についてはいわゆる音楽の教科書と、器楽合奏の教科書というものがあります。前回も教育芸術社というところが選ばれておりましたが、今回も同じ教科書が選ばれています。まず、音楽の教科書ですが、アニメやテクノポップなど多様なジャンルを取り上げ、子供たちの興味を高めながら幅広い感性を養うように工夫されていること。それから、主体的、対話的で深い学びを実現する、今求められている学びですが、その手だけとして学びのコンパスというページを設け、子供たちが自分の考えを整理しながら学習を進めることができるよう構成されていること。また、音楽ですので、なお一層デジタルコンテンツの活用が望まれるところですが、それが非常に豊富に用意されているということでした。そして、器楽合奏の教科書ですが、同じ箱に入っているかと思いますが、和楽器に合計29ページといった非常に大きなページを割いていること、打楽器については5ページにわたって15種類の打楽器を紹介していること、リコーダーについては16ページを充て、ソプラノ、アルトの両方の楽譜を記載していること等、非常に豊富な子供たちへの情報提供並びに楽譜の提供等がなされているということです。それでは、音楽の教科書並びに器楽合奏の教科書についてご確認いただきますようお願いします。よろしいでしょうか。

(はいの声あり)

(教育長) それでは、教育芸術社はこれまでも使わされてきております。教育芸術社を採用することでご承認いただけますでしょうか。

(異議なし)

(教育長) ありがとうございました。続きまして、美術に移ります。美術は、光村図書が選ばれています。今回の美術の教科書の特徴として、題材ごとに全国の生徒の作品といった二次元コードがついており、1つのテーマにおいて作品を作ろうとするときに、そのQRコードにアクセスすると、その題材について全国の友達はどんな作品を作っているのかといったことを先に見てから考えることができる、または、参考にすることができるといった工夫がされています。それから、みんなの工夫という二次元コードでは、紹介されている作品の作者のインタビュー記事や、そのようなものが紹介されており、単に作品を見るだけではなく、そのままに一歩先まで考えて鑑賞し、また、自分の作品制作に取り組むことができるということでした。それから、別冊の資料がありますが、中学校3年間で必要な資料をまとめて、描く、つくる、写真・映像、発想・構想、形・色・光の学習などを学ぶことができるよう工夫されているということで、その資料編も非常に有効であるということでした。それでは、美術の教科書についてのご確認をお願いいたします。

(検討中)

(教育長) いかがでしょうか。美術については飽きずにずっと見ていられると思うのですが、時間も限られていますので、美術は光村図書を採用するということでご承認いただけますでしょうか。

(異議なし)

(教育長) ありがとうございました。続いては保健体育です。保健体育は、これまで学研の教科書を使ってきましたが、今回の選定では大修館書店の教科書が選ばれました。その理由として、子供たちが学習の中で課題を考える、つかむという段階、それから意見を出したり、話し合ったりするという過程が用意されており、身につけたり、考えるという場面では興味、関心を高める話題や、実際に発生した事例等が取り上げられているということでした。また、ページの下にクイズにトライという場面があり、学習のまとめをしたり、二次元コードを読み取りクイズ形式で学習を確認したりすることができることが使いやすいのではないかといった理由でした。それから、見開きの教科書構成の中で、中心部に本文が寄せてあり、その周りに資料が配置されているという非常に工夫された紙面レイアウトになって分かりやすいということが選ばれた理由でした。それでは、保健体育の教科書についてご確認、ご審議いただければと思います。よろしくお願ひします。

(検討中)

(教育長) よろしいでしょうか。保健体育は教科書が変わります。先ほど申し上げた理由で大修

館書店が選ばれておりますが、これを採用するということでよろしいでしょうか。

(異議なし)

(教育長) ありがとうございました。続きまして、技術と家庭科ですが、これは昨年度と両方替わります。両方とも開隆堂という会社だったものが東京書籍に替わります。理由は似ているところがありますので、一括してご審議いただければと思いますが、よろしくお願ひいたします。技術、家庭ともにですが、非常に説明が丁寧で、授業の流れが分かりやすくてよいということでした。また、技術については、どの学びのまとまりも基礎知識、問題提起から始まり、問題解決、まとめという流れで構成されている、各項目においては冒頭に目標を示して、導入課題も提示している、二次元コードのコンテンツも非常に充実しているという理由でした。家庭科についても、項立てが目標から始まり、生活への生かし方、まとめで終わり、実生活とのつながりも非常に意識されているということ、あとはデジタルコンテンツが非常に充実しているといったような理由でした。技術と家庭科、同じような特徴を持っているため、加えて一括でご審議いただければと思います。よろしくお願ひします。

(検討中)

(教育長) 技術や家庭科については、実際のデジタルコンテンツも非常に重要な役割をしていくと思いますが、それらもかなり充実しているということで選ばれています。いかがでしょう。技術、家庭科について今回教科書が替わり、東京書籍になるということですが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

(教育長) ありがとうございました。続いて、英語です。これも教科書が替わります。開隆堂から三省堂に替わるということです。内容の構成の工夫として、リスニングで導入し、本体の学び、そして漫画によるターゲット表現の確認や即興のやり取り、アクティビティーを書いたり、発表したりするなどの様々な仕組みが盛り込まれています。また、生徒がつまずきやすい点についても取り扱っている、そして、先ほどから強調されているデジタルコンテンツについても非常に充実しているというような理由でした。それでは、英語についてご検討、ご確認をお願いいたします。

(委員) 何か昔とイメージが全然違います。

(委員) 文章しかなかった。絵なんてなかったです。

(委員) 全然違う。私たちはディス・イズ・ア・ペンから始まった。動詞や主語の位置が違から、日本人が英語嫌いというのはそれだと思う。

(教育長) いかがでしょうか。よろしいですか。

(はいの声あり)

(教育長) では、英語については教科書替わり、三省堂を採用するということでよろしいでしょ

うか。

(異議なし)

(教育長) ありがとうございました。最後、道徳ですが、道徳は教科書がたくさんございます。

不採用の教科書も後ろにありますのでご確認いただければと思いますが、今回採用されたのは光村図書です。それぞれの題材に合わせて問い合わせが様々な視点からなされており、子供たちが物事を多様に考えられるよう工夫されていること、役割演技を取り入れた活動のページがあり、アクティブに考えることができるようになっていること、やってみようというコーナーで、人と人との関係づくりのスキルやコツを学んでいくことができるということ、それから、教材文が扱いやすい長さで、価値の追求がよりよく進められるようになっているといった理由でした。それでは、道徳についてご確認、ご審議いただければと思います。よろしくお願いします。

(検討中)

(教育長) いかがでしょうか。道徳の教科書も非常に種類がありますが、その中から今回光村図書が選ばれてきております。来年度以降光村を使っていくということについてご承認いただけますでしょうか。

(異議なし)

(教育長) ありがとうございました。それでは、以上をもちまして令和7年度から使用する中学校の教科書を全て選定いただき、湯沢町教育委員会として承認させていただきます。なお、この教科書の選定については非公開ではありません。また、湯沢町教育委員会だけでこれを決定することはできず広域採択となっています。小千谷、魚沼、南魚沼と併せて全ての教育委員会が承認したことをもって採択として正式に決定いたしますので、一応めどとして月末までを予定しております。万が一いずれかの教育委員会で否決された場合には、再度審議やり直したことになりますが、そうならないことを願っています。なお、7月末までは一応皆様からも外部へは非公開ということで取り扱っていただければありがたいと考えています。よろしくお願いします。なお、今回の中学校の採択事業につきましては、当教育委員会からは高橋委員から選定委員として大変お難儀をいただきました。本当にありがとうございました。感謝申し上げます。それでは、湯沢町教育委員会の採択の結果について、協議会に報告したいと思いますので、ご了承いただきたいと思います。よろしくお願いします。それでは、教科書の採択についての議案を以上で終了させていただきます。よろしいでしょうか。

(はいの声あり)

(教育長) 大変ありがとうございました。それでは、議案については全て終了し、協議事項となります。

6 協議事項

なし

7 報告連絡事項

- ① 各課係より報告

なし

8 その他

- ① R 6. 9月委員会会議開催予定日について

第9回湯沢町教育委員会会議は9月25日(水)とする。

- ② その他

なし

9 閉会

午前10時40分

以上の会議録が相違ないことを確認してここに署名する。

令和6年8月27日

署名委員 種村 公夫

署名委員 高橋 延次